



Communiqué de presse Press release

2015年1月5日米ラスベガス発表プレスリリース意訳

ヴァレオ、2015 インターナショナル CES で スマートウォッチ、自動運転とダイナミックなライティングを初公開

明日の車のためのイノベーションを開発する業界リーダーの一社であるヴァレオは、ラスベガスで開催される2015 インターナショナル CES において InBlue スマートフォンと、スマートウォッチ使用のバーチャルキーを展示します。

この CES で北米初公開となるヴァレオの InBlue は、Bluetooth™ テクノロジーを使い、スマートウォッチかスマートフォンを使用して車を施錠・開錠するものです。これにより、カーシェアリングやリモートパーキングを安全に行うことができ、離れた場所からタイヤの空気圧や燃料計、車を最後に駐車した場所などの情報にアクセスできるようになります。

InBlue に加えて、ヴァレオは、Cruise4U 自動運転のプロトタイプと、洗練されたライティングテクノロジーの実演を行います。対向車のドライバーを眩惑しないように自動で配光する BeamAtic® PremiumLED ヘッドランプや、コンパクトなデザインを保ちヘッドランプのスタイリングに影響を与えることなく道路の 600 メートル先まで照らすことができるレーザーライティングのデモンストレーションを実施します。

「ヴァレオは、ドライバーや周辺環境に対応しながら、車をよりスマートに、安全に、そして運転しやすくする技術を開発することにコミットしています」と上級副社長研究開発担当のジャン-フランソワ・タラビアは語ります。「InBlue のように直観的なドライビングシステムと接続された車への消費者ニーズは高まっています。Cruise4U と BeamAtic® PremiumLED は、ドライバーがさまざまな運転システムを操作するのをサポートし、ドライブを楽しみながら他の車とのかかわりを簡単にするものです。」

InBlue

ヴァレオの InBlue バーチャルキーは、「モノのインターネット」に関連する新しい用途や行動を取り入れてスマートキーの性能を拡張したものです。InBlue は簡単にインストールでき、スマートフォンかスマートウォッチに保存されたバーチャルキーを使い、安全な InBlue プラットフォームを介して、車と通信するものです。このシステムは、オンライン決済システムと同等の安全性を確保します。

InBlue を使うと、ドライバーは車を自宅に置いたままでも、自分の車にアクセスすることができます。また、離れた場所から車のデータに接続し、燃料計を確認することもできます。データは定期的にスマートフォンにバックアップされ、ドライバーは車から離れた場所においてもこの機能を使用できます。

ドライバーは、InBlueによって車のバーチャルキーを他の人に送ることもできます。これにより、車をより簡単にシェアできるようになります。

InBlueは、2016年初頭に車に搭載される見込みです。

Cruise4U

ヴァレオはCESにおいて、実際の道路状況の中で自動運転のプロトタイプCruise4Uを初公開します。起動中、ドライバーは車を自分自身でコントロールしたいのか、Cruise4Uにステアリング操作、加速、減速などを任せるのかを決めます。走行している車や静止している障害物をレーザースキャナーにより検知し、衝突を防ぎます。

ヴァレオは、自動車エンジニアリングサービスのリーダーであるIAVとのパートナーシップにより、Cruise4Uのプロトタイプを開発しました。

ライティングテクノロジー

CESにおいて北米デビューを飾る BeamAtic® PremiumLED ヘッドランプは、暗闇のショールームにおいて体験することができます。BeamAtic® PremiumLED により、対向車のドライバーを眩惑することなくハイビームを使い続けることができ、夜間走行における可視性が改善されます。このシステムは、車載カメラにより他車を検知して位置を特定し、道路の他の部分は照射しながら、対向車のいるエリアだけ影になるようにハイビームの配光を調整します。

BeamAtic®では、省電力や長寿命など LED ライティングのメリットも享受できます。

ヴァレオのレーザライティングシステムは、従来のロードビームにスポット機能を加えることで夜間の可視性を向上させます。将来のヘッドランプを考慮し、レーザースポットにより直接、車の前方を照射しつつ、従来のビームライトは周辺環境を照らします。

比較的直線が続く道路での高速走行向けに設計されており、車の速度と道路のタイプによってレーザースポットの光量を調整します。一定以上の速度では、明るいビームによってドライバーはより遠くまで見通せるようになり、歩行者や動物、落下物などの障害物を見つけた時に適切な行動を取るための時間が得られます。

ヴァレオの技術について、詳しくは CES セントラルプラザのブース CP10 にお越しください。

独立系の企業グループであるヴァレオは、主に CO₂ 排出量の削減と直観的なドライビングの発展に貢献する自動車用の部品、統合システムとモジュールの設計、製造、販売に特化しています。ヴァレオは世界の自動車部品サプライヤートップ 10 社の一角を占めています。グループ全体で、29 カ国に 122 カ所の工場、16 カ所の研究センター、34 カ所の開発センター、12 カ所の物流センターを構え、約 79,500 人の従業員を擁しています。2013 年度のヴァレオグループの売上高は約 121 億ユーロであり、OEM 売上の 10%以上を研究開発に投資しました。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しており、CAC40 指数に採用されています。ヴァレオグループについての詳細は、www.valeo.co.jp をご覧ください。